

ネパールで建設中断の診療所

工事再開6月完成へ

AMD A 機 構 岡山南LC資金提供

開発途上国の生活環境改善などに努めるAMD A 社会開発機構(岡山市北区蕃山町、鈴木俊介理事長)は、ネパールの行政機関と協力し、同国バイラワ郡カマリア行政村で工事中のまま資金不足で中断していた診療所の建設を再開させた。岡

困地区。診療所は鉄筋コンクリート平屋約80平方メートルで、診療室や処置室、薬品室などを備える。バイラワ郡が建設に着手したが政情不安もあり、1年近く工事が止まっていた。

同機構は1991年からネパールで医療従事者を育成し、98年には「AMD Aネパール子ども病院」を開くなど支援。昨年10月、同クラブの松野会長から「現地では出産間もない女性や新生児の死亡



山南ライオンズクラブ(同青江、松野隆造会長)の資金提供を受け、6月に同村唯一の施設として完成予定。現地の医師が周辺住民も含めた約1万9千人の診療に当たる。

カマリア行政村は首都・カトマンズの西約270キロに位置する貧



建設中のまま工事が中断していたカマリア行政村の診療所

率が高いと聞く。命をた。救う場所を作るため協力したい」と約280万円の援助の申し出があり、同機構が仲介し3月に再開。鈴木理

建設工事は、同機構がバイラワ郡とプロジェクトをつくり今年3月に再開。鈴木理